



2024-2026年度

NHKエンタープライズ 中期経営計画



世界は今、とてつもない変化のただ中にあります。

メディアの世界もまた、加速するデジタル化、フェイクニュースの横行、進化するAIへの対応など、巨大な荒波にもまれています。

2025年は日本における放送100年の節目の年。

私たちが次の100年も必要とされる存在となるには、今こそ大きな変革が必要です。

Enterprise には、変化を恐れず「冒険心」を持って、
困難の中でも新しいことに大胆に挑戦する、という意味があります。

そして私たちには、この精神のもと培ってきた多様なコンテンツ制作力や展開力があります。

こんな時代だからこそ、放送、デジタル、イベントなど、NEPのあらゆるコンテンツの「総合力」を結集。
日本のみならず、世界の人々の心に明かりを灯し、心と心をつなぐ、コンテンツの新しい価値を創造します。

コンテンツの力で希望を生み出し、未来を変える。

誰もが前を向いて進める、そんな社会の実現に貢献します。

さあ、新しい冒険の始まりです。

超える 変わる

私たちは変わります。

放送番組制作の枠を超え、培ったクリエイティブの力を駆使して、イベントやデジタルなどあらゆるメディアに魅力的なコンテンツを供給する、真のコンテンツ総合企業へと生まれ変わります。展開は国境を越え、世界へ。より多くの人に、より多様なデバイス・プラットフォームで届けて、コンテンツの価値を最大化します。

【重点項目】

1. 心に響く最高のコンテンツを生み出し世界へ届けます
2. 新たな事業で明日の社会に貢献します
3. コンテンツの総合力で地域の未来を創ります
4. 挑戦と創造で仲間とともに成長します
5. 多様性を尊重する持続可能な経営を進めます

※ 上記 重点項目への取り組みに当たっては、各部署でKGI・KSF・KPIを設定し、目標達成に向けた進捗管理を行います。

重点項目 1

心に響く最高のコンテンツを生み出し世界へ届けます

- 幅広い世代に感動・共感・夢を届ける映像作品や、多角的で信頼できる情報発信など、多彩で魅力的なコンテンツを制作。放送だけに留まらずインターネットやイベント、ステージショーや映画などに展開し、創造の舞台を広げます。
- アニメやドラマをはじめ、あらゆるジャンルで展開力を大幅に強化し、NHKブランドを世界へ広く発信します。国内・国際共同制作を増やし、NEPがIP(知的財産)を保有するコンテンツの開発も推進。2026年度、NHKグループのIPを展開する事業の売上を2023年度比で倍増させます。
- 世界で通用するクリエイターや展開プロデューサーの育成に注力します。同時にライツ・法務・経理などのバックオフィスも整備するなど、全社一丸となって展開を強化する体制を作ります。
- 社外の優れた才能と連携し、放送の新たな100年の幕開けにふさわしいNHKのフラッグシップとなる番組の開発など、日本の映像産業の躍進に貢献します。
- VR/AR/MRなどデジタル技術や高精細撮影・映像演出などの分野で、外部の最先端企業との共創を積極的に行います。新たな表現手法を開拓するとともに、そのノウハウを社会に還元します。

新たな事業で明日の社会に貢献します

- 社会の課題を解決し人々の関心に応える、新規事業の開発に常に力を注ぎます。
部門の壁を超えて事業の芽を見出す取り組みを全社で進め、様々な専門性を結集して育てていきます。
- AIを活用した「手話CG」の高度化と多言語への対応を進め、社会への実装を推進します。
「東京2025デフリンピック応援アンバサダー」に就任した3D手話アバター「KIKI」はNHKでの活用に加え、国際イベントや日常のさまざまな場面でのユニバーサルサービスの充実に貢献します。
- NEPが培ってきた映像展示の演出力を進化させ、公共的な大型イベントの新たな可能性を追求します。
「2027横浜国際園芸博覧会」では、植物の特殊撮影、VRやAR、8K中継など最先端技術を駆使した展示を企画。
NHKグループの総力を挙げて植物の知られざる魅力を伝え、自然に基づいた社会課題の解決を考えていきます。
- 2.5次元舞台を強化し、新たなエンターテインメント体験を届けます。
「忍たま乱太郎」「魔入りました！入間くん」に加えて、時代劇やドキュメンタリーなどこれまでにないジャンルの企画や最新の映像技術を使った舞台を開発。NHKコンテンツの可能性を広げます。
- 絵画や仏像など第一級の文化財、歴史的な建造物などの文化遺産、さらには自然遺産や恐竜を高精細の3DCGで再現。
コンテンツ制作に生かすとともに、体験型の新しい展示事業を創造します。かけがえのない遺産の魅力に触れる機会を通して、その継承と保存に寄与します。
- 放送100年で蓄積されてきたNHKアーカイブスの活用を強化します。貴重な映像をNEPレストアサービスで4K高画質化し、放送だけでなくイベントなどで使用。教育機関への配信事業も推進し、映像資産の社会還元積極的に取り組みます。
そのためにNHKアーカイブスのメタデータの整備や権利処理をより迅速かつ効率的に進めます。

重点項目 3

コンテンツの総合力で地域の未来を創ります

- 「地域とNHKをつなぐパートナー」として、これまで以上に主体的に地域を支援し、貢献します。それによって地域の未来を地域の人々や自治体、企業とともに創り上げることを目指します。
- 全国各地の放送局と連携して、防災・減災をはじめ地域に役立つ情報を発信します。NHKグループの一員として必要不可欠なサービスを届け、地域におけるNHKへの信頼度を高めます。
- 全国放送や国際放送の番組を通して、地域の魅力を日本全国や世界に届け、地域社会・地域文化の発展に寄与します。
- 地域番組を核にさまざまな展開を強化します。地域との新たな結びつきにつながるイベントやデジタルの取り組みを開発し、コンテンツの総合力で地域を応援します。
- 全国のネットワークや多様な人材をこれまで以上に活かすため、支社間の連携を強化し、ノウハウを共有し要員の流動性を高めます。さらに、本社と地域支社が一体となった体制を強化して、より効率的・合理的な業務運営に取り組みます。

挑戦と創造で仲間とともに成長します

- 社員一人一人のやる気とクリエイティブを徹底して尊重し、育成や評価の基盤に据えます。失敗を恐れず、新しいことに挑戦し続けられる環境を整え、働く誰もが確かな成長を実感できる会社になります。
- デジタルツールを使った社内コミュニケーションの活性化を進めながら、皆が率直に意見を述べ合う、風通しがよく共感に満ちた、心理的安全性の高い組織を築きます。
- NEPの未来を支える制作・展開事業に注力するため、全事業の将来性を精査し、適切なパワーシフトを計画的に行います。リスキリングも推進するなど人材への投資を強化し、キャリアの向上を支援します。
- 社内公募の実施や人事異動を通じた人材の再配置を加速させます。
リモートワークを活用した異任地での就業スタイルも取り入れ、仕事と育児・介護との両立を進め、多彩な人材が意欲的に働くことができる体制を確立します。
- 国内外の制作者と連携して、互いに価値を提供しつつ共に競争力を高め、成長できるパートナーシップを構築します。NHKグループ内での人材交流も活性化させ、組織の総合力を向上させます。

多様性を尊重する持続可能な経営を進めます

- 業務の遂行や人材の登用に当たっては、性別、年齢、国籍、人種、宗教、障がいの有無、性的志向、さまざまな文化、価値観、バックグラウンドなどの違いを尊重し、NEPの仕事に関わる全ての人が、安心して個性と能力を発揮できる環境の整備に努めます。
- 長時間労働、ハラスメント、不当な差別の排除と防止を不断に行い、人権を守る体制・企業風土を強化していきます。
- SDGs達成のため、日々の業務を常に見直し続けます。コンテンツ制作過程におけるCO₂排出量の削減をめざし、国内外のメディアやステークホルダーと連携して最新の知見を共有。イノベーションも活用して持続可能な制作手法を確立します。また、オフィスの電力の再生可能エネルギーへの切り替えと省エネルギーを推進します。
- コンプライアンスの一層の強化を図るとともに、社員一人一人が企業倫理を重んじ、社会の信頼に応えます。先端分野などでの新規事業の開発に伴う新たなリスクにも対応できる、柔軟で健全な企業経営を進めます。
- 急速な経営環境の変化に対応するため、管理会計を用いた収支管理をより一層進めるとともに、固定費の見直しも継続して行うことで適正な営業利益を確保し、強固な経営基盤を構築します。

2024-2026年度 収支計画

	2024年度	2025年度	2026年度
売上高	613 億円	608 億円	631 億円
純利益	21.8 億円	20.1 億円	19.4 億円

※ 本計画は、社会・経済情勢の変化などに応じて見直すことがあります。